

メイプル



(4月号 NO②)



令和 3年 4月 19日
ニュージャージー日本人学校
校長 菱沼省二

【校長より】

『心のキャッチボール』

入学式「校長式辞」

※実演：ボールを空中に投げ、左手で捕球しようとする。左手を握ったまま状態なので、捕球できず、ボールは床に落ちる。

今なぜ私がソフトボールを捕ることができなかつたかが分かりますか？

※実演：ボールを空中に投げ、左手で捕球しようとする。左手を開き捕球する。

なぜ今度は捕球できたのでしょうか？

答えは簡単です。左手を開いて、捕球するための形を左手が準備していたからです。

左手を握ったまま、「げんこつ」の状態ではボールを受け止めることはできません。

左手を優しく開き、相手の方に向け「ボールを受け止めよう」と思わなければなりません。

とても当たり前なことなのに、我々は、日常生活の中で、「心の左手」をげんこつにしていることはありませんか。残念ながら、私にはあります。後で気がつき、謝ることがあります。謝ることさえできずに、後悔することもしばしばです。

今、受け止めるべき「ボール」を捕りそこねないでください。新しい仲間や先生には必ず「おもいやり」や「やさしさ」があります。そのボールを見逃さないでください。

学年や学校が新しくなると、新しい仲間を作るのに少し苦労するかもしれません。しかし、新しい仲間と出会えるチャンスでもあります。ニュージャージー日本人学校は、とても良い学校です。「おもいやり」や「やさしさ」のボールがたくさん飛び交っています。しっかり見つけ、受け止めてください。時々、自分には捕るのが難しいボールもあるかも知れませんが、でも、頑張って受け止めようとしてください。うまく捕れなかった時には、そっと捕り損ねたボールを拾い上げてください。拾い上げたら、なるべく良いボールを相手に投げ返しましょう。

最初からは上手くはいかない「心のキャッチボール」、頑張っていると段々と上手になります。卒業する頃には、生涯忘れることのない友情が育ちます。

今年、東京ではオリンピック・パラリンピックが開かれます。ニュージャージー日本人学校でおもいやりのボールを受け止めるのと同様に、オリンピック・パラリンピックの美しさや輝きを見逃さないでください。美しい音楽があったら感動してください。情熱的なプレーがあったら、感動して涙を流しましょう。障害のある方の前向きな努力に共感してください。日本の「思いやりのボール」を世界の方々に知って貰いましょう。その一員にみなさんが成長することを期待しています。アメリカニュージャージーの方、保護者の方は、みなさんのチャレンジを応援します。

本校教職員は、保護者・学校が一体となってお子様の成長を図ることが重要だと考えます。双方の意見交流・情報交換を十分に図り、お子様の大きな成長を成し遂げたいと思います。



【新任教員紹介】

『お世話になります。よろしくお願ひします』

畠山 敏（3年担任）

透き通る青空に八重桜が映え、メイブルの甘い香りが漂う4月6日、岩手からここニュージャージーへと地球を大またぎして、一歩を踏み出しました。岩手県とニュージャージー州は、面積も緯度もほぼ同じです。四季の変化も美しく、今冬の雪の多さまで同じだったようです。とても大きな縁を感じております。

私は、畠山敏と申します。これまで、岩手の小・中学校で教員をしていました。この度、文部科学省派遣教員としてニュージャージー日本人学校に着任いたしました。趣味は旅です。その旅の中で影響を受けた生き方が、イタリア人の「Mangiare（食べよ）、cantare（歌えよ）、amore（愛せよ！）」の人生観です。アメリカでも、美味しいものをいっぱい食べ、素敵な音楽に出会い、たくさんの人々との交流を楽しみたいと思っています。

さて、岩手では、10年前に起きた東日本大震災後、全県を上げて復興教育に取り組んでいます。そのキーワードは、「いきる」「かかわる」「そなえる」です。この3つは、今、全世界で取り組んでいるSDGsの精神にも通じます。NJ校でも、自ら考え、自ら解決の道筋を立て、自分を大切にしながら、仲間と共に協力していくことができるような児童生徒の姿を追い求めていきたいと思っています。すぐ近くには、「国連本部」や「自由の女神」もあります。このような世界の中心地で多様性や、民主主義をグローバルに学ぶことができる子どもたちは、本当に幸せだと思います。

私自身も大きな幸せを感じているところです。

NJ校では、ITC教育や遠隔授業がとて進んでいる様子です。ところが私は、情報機器が苦手なアナログ人間でありまして、これまで全く遠隔授業の経験もなく、スタート時はかなり戸惑うかと思いますが、何とか苦手意識を克服しながら、精いっぱい頑張っ参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

『コロナを乗り越えて』

佐久間 みのり（8年担任）

ニュージャージー日本人学校のみなさん、こんにちは。今年度着任いたしました佐久間みのりと申します。3月までは北海道札幌市の小学校で、2年生を担当しておりました。

私は福島県会津若松市の出身で、高校卒業までそこで暮らしておりました。大学進学を機に宮城県仙台市に移り、大学卒業後は仙台市内の私立小学校で2年間お世話になりました。それ以降は札幌市で働き、今では札幌での生活が一番長くなっております。札幌には夫と息子が2人、そして猫が2匹おります。

趣味は山歩きです。北海道内の山々が中心ですが、富士山をはじめ日本各地や韓国の山にも登ったことがあります。一年を通して登山を楽しんでおり、冬はルートを検討しながらスノーシューやアイゼンを付けて山頂を目指します。山頂で淹れるコーヒーの味は格別です。

ニュージャージー日本人学校では、「すすんで学習しよう・思いやりの心をもとう・健康な体をつくろう・アメリカ社会を理解しよう」という学校教育目標を掲げ、保護者や関係各所の皆様のご理解とご協力の下、日々の教育活動を行っていると同いました。特に昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでとは異なる状況に児童生徒をはじめ保護者の皆様も大変なご苦勞をされたことと思います。そんな中、児童生徒の学力保証のために新しい学びのスタイルを目指してきたNJ校の取組をさらに推進していきたいと考えております。「心が晴れる学級・学校にしたい」

コロナ禍を体験し、私はさらにこの思いを強めました。児童生徒のみなさんが、心と体の安全を感じ安心して過ごすことができること、学習をはじめ学校生活全般を通して自己肯定感や有用感を高めることができること、そして自ら考え選択し行動できることを目指し、精一杯サポートしていきたいと思っています。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【児童生徒の考え】

『言葉の力』

宮寄梨世（9年）

皆さんは、困っている友達や悩んでいる友達がいたら何と声を掛けますか。また、そうして声を掛けてくれた友達はいますか。ここでは、私が7年生だった時の出来事を少しお話ししようと思います。

夏休み明けの7年生のクラスでは、それぞれ旅行先で買って来たお土産を出して、どれが良いかを話し合っていました。けれど、転校してきて間もなかった私は、あまりクラスに慣れていませんでした。「何が良い？」と友達に聞かれても、「何でも良いよ」と答える一方。そんな時、あるクラスメイトが私に「梨世も7年生のクラスの一員なのだから、遠慮しなくて良いよ！」と声を掛けてくれました。そのクラスメイトにとっては何気ない言葉だったとしても、私は間違いなくその言葉に救われました。こんな漫画みたいな言葉を言ってもらえるなんて！と内心驚いてもいました。気がふっと軽くなるような、そんな言葉でした。今でも鮮明に覚えていて、言葉による影響は大きいのだと感じた出来事でした。

皆さんにもこの様な経験はありますか。自分が悩んでいる時の、誰かからの言葉はとても救いになりますよね。

上記に書いたように、言葉による影響は大きいです。人それぞれに価値のある、大切なものだと思います。だからこそ、相手に言う前に「それを聞いて相手はどう思うだろう？」「私らしくないかな？」と考えてしまうこともあるのではないのでしょうか。素直に言葉を伝えるのは難しいです。ですが、自分の言葉が相手の力となり、勇気づけることへと繋がったら、それはとても素敵なことだと思います。私もそうでありたいと7年生の出来事があってから思うようになりました。言葉で人を勇気づけたり助けたり出来るような人に。皆さんはどうですか？言葉の温かさが相手の不安な心を溶かしていくと良いですね。



『日進月歩』

中西莉緒（9年）

みなさん、こんにちは。9年の中西莉緒です。今回はメイプルに私の文章を載せていただきありがとうございます。ございます。

突然ですが、みなさんは将来の夢を持っていますか。「〇〇になりたい。」や「〇〇したい。」などと、もう将来の夢を持っている人がいるかもしれないし、まだ、自分が将来なりたいものがはっきりしていない人もいるかもしれません。私はまだはっきりとした将来の夢はなく今、自分にあったものを探し中です。なので、何かしらの夢を持っている人が羨ましいな、と思うことがあります。

しかし、今、私が考えている将来の夢は大きなこと（例えば職業など）だと思います。将来の夢についてもう少し広く考えると、将来＝未来（今より先のこと）、夢＝目標というふうに捉えることもできるかと思っています。こういうふうに捉えると普段私達が立てている本当に些細な目標もある意味将来の目標なのではないかなと思います。

例えば、テストで100点取るために毎日家で2時間勉強するという小さな目標を立てるとします。そしてその小さな目標の積み重ねによって見事テストで100点を取ったら大きな目標の達成になります。そうしたら、良い成績がつき、希望していた高校などに行くという夢に一步でも近づけるはずですよ。

私は、日進月歩という言葉大切にしています。この四字熟語の意味は、「絶えず進歩していく」です。この四字熟語のように私は、日々勉強面や生活面などの様々なところで努力をし、一日一日成長していけるような人になりたいと思います。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



【アメリカに学ぶ】

《キング牧師の名言》

- ①Take the first step in faith. You don't have to see the whole staircase, just take the first step.
疑わずに最初の一段を登りなさい。階段のすべて見えなくてもいい。とにかく最初の一步を踏み出すのです。
- ②Even though we face the difficulties of today and tomorrow, I still have a dream.
私たちには今日も明日も困難が待ち受けている。それでも私には夢がある。
- ③We must accept finite disappointment, but never lose infinite hope.
私達は、限りある失望を受け入れるべきだ。しかし、無限なる希望を失ってはならない。
- ④We must learn to live together as brothers or perish together as fools.
人は兄弟姉妹として、共に生きていく術を学ばなければならない。それが出来なければ、私たちは愚か者として共に滅びることになる。
- ⑤Freedom is never voluntarily given by the oppressor; it must be demanded by the oppressed.
自由は決して圧制者の方から自発的に与えられることはない。しいたげられている者が要求しなくてはならないのだ。
- ⑥I submit to you that if a man hasn't discovered something that he will die for, he isn't fit to live.
そのために死ぬる何かを見つけていない人間は、生きるのにふさわしくない。
- ⑦In the end, we will remember not the words of our enemies, but the silence of our friends.
結局、我々は敵の言葉ではなく友人の沈黙を覚えているものなのだ。
- ⑧The ultimate measure of a man is not where he stands in moments of comfort and convenience, but where he stands at times of challenge and controversy.
人の真価がわかるのは喜びに包まれている瞬間ではなく、試練や論争に立ち向かうときに示す態度である。
- ⑨Life's most persistent and urgent question is: What are you doing for others?
人生で最も永続的でしかも緊急の問いかけは、「他人のために、今何をしているか」だ。

選出 菱沼

キング牧師の名言、とても中身の濃い心に残るものばかりです。私自身、心の本棚に収め、ことあるたびに読み返し気持ちを引き締ようと思います。

「アメリカの歴史」、「差別の歴史」、「真のグローバル社会」につながる名言ばかりです。

【その他・連絡事項】

①全員登校について

先日（4/5）の説明会にたくさんの参加をいただき、ありがとうございました。
「全員登校」を開始いたしました。児童生徒全員が登校を希望しています。
※一時帰国・渡米直後自宅待機で、まだリモート授業参加の児童生徒も数名います。

皆様のご理解・ご協力に感謝しています。
教職員一同、お礼を申し上げます。ありがとうございます。
安全対策を講じながら、充実した教育活動を遂行する所存です。

しかし、「コロナ感染症は100%発生しない保証がない」ことも事実です。
発生した場合の対応、発生の疑いがある時の対応は、以前に通知した通りです。
本校は少々厳格なルールとなっています。ご理解ください。
※迷った場合には、遠慮なく問合せください。



②行事について

○運動会

5月15日（土）、午前中本校グラウンドで実施予定です。
※雨天の予備日 5月26日（水）同時間帯
コロナ感染状況を見ながらの取組となり、縮小内容（午前中）で実施します。

《コロナへの配慮事項》

- ①応援の方法：団長と副団長だけが声を出して応援する。
- ②競技種目の工夫⇒選手の接近を最小限に留める。
- ③競技時間を短縮する。

○宿泊を伴う行事

コロナ感染予防の観点から、慎重な対応が求められます。
食事中の安全性確保、宿泊施設の感染予防のなど、課題解決を図りたいと考えます。

《フロストバレー宿泊学習》

各宿泊施設が独立した環境となっています。
他の宿泊客と接触をほとんどなく、宿泊学習することができます。
安全性が高いと判断し、実施の方向で検討中です。

☆実施日 5月20日（木）～21日（金） 1泊2日

《修学旅行（ボストン・フィラデルフィア）》

宿泊施設の独立性が薄く、他の宿泊客と接点が多い。今年度内に実施は断念します。
⇒代替え案「フロストバレーに4年～9年までが同じ日程で宿泊する。

③家庭科授業の実施について

- ・現在、バセット講師の代替え講師を調整しています。
※近日中に決定する見込みです。（5月には新しい家庭科講師が出勤できる予定です）
- ・講師確保に向け調整日数が必要なため、当面の間は他の教科授業を前倒し実施します。

④食物アレルギー対応について

先日の説明会の内容が、「学校全体からアレルギー物質を除去する」と理解できるものでした。
当該学年（7年生）のみが、対象となります。誤解を招き失礼いたしました。